

2 これからの人づくり ～探究的学習の推進～

学校教育課





探究的学習とは

- 課題解決学習（PBL）では、子どもたち自身が課題を設定し、解決に取り組む過程を通して、非認知能力や、これまで授業で学んだ知識と知識をつなぎ、より深く理解しながら、思考力・判断力・表現力などの実践的な力を身に付けることができる。

- 例えば、小・中学校では、総合的な学習の時間で、**地域の事象から**学習課題を設定し、自分事として捉え、**地域の人たちと関わり合いながら**解決に向けて取り組み、その成果をアウトプットしたり学校間等で共有したりするような実践が考えられる。

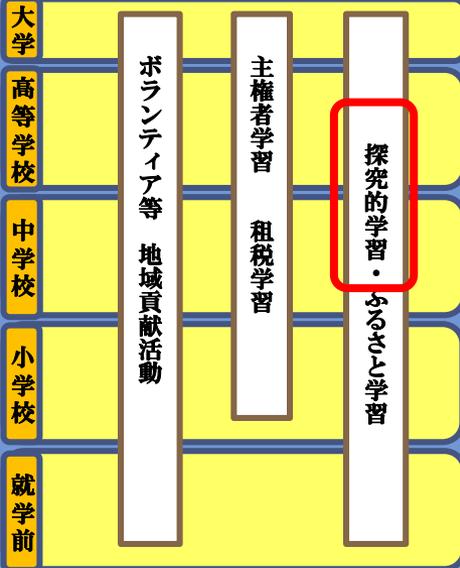
(参考:「教育時報」2021.11 岡山県教育庁義務教育課)



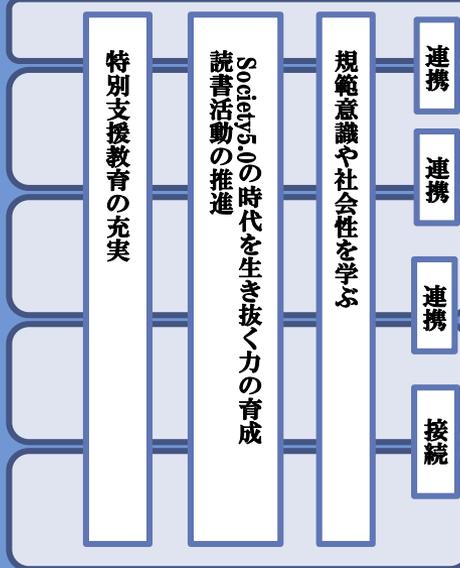
大志を抱き未来を拓く人づくり



ふるさとを愛し
活力あるまちを創る人



知・徳・体の
調和のとれた成長をする人



夢や目標の実現を
目指して努力する人



◇たかはしだいすき

◇はきはきあいさ

◇しっかり まもる

◇かなえる ゆめ

た か は し ベ ー ジ ャ ッ ク



おokayama学びたい賞

- 高梁中学校...最優秀賞・優秀賞W受賞
- 動画

[【R2学びたい賞】最優秀賞・優秀賞紹介HP](#)
[\(google.com\)](#)



ICT教育との関連

- 今後、授業改善を進め、課題解決的な学習を十分経験させておく必要があり、一人一台端末は、AIドリルのような個別学習に活用するだけでなく、協働的、課題解決的な学びにおいても主体的に活用することが求められている。

- これまでは「教師」がICTを「教具」として活用する視点であったが、これからは、「子ども」がICTを「文房具」の一つとして主体的に活用する視点に立って授業改善を図る必要がある。

- その際、子どもと教師で**実社会**や**実生活**とつながる課題を設定し、**子ども自身**が何が重要かを考え、見いだした情報を精査し、**他者と協働しながら**解決に結び付けていくために**主体的にICTを活用する**学習を行うことが重要である。

(参考:「教育時報」2021.11 岡山県教育庁義務教育課)



ICT教育との関連

- 市の施策として、ICT支援員のより一層の充実
 - R4当初予算において重点化



探究的学習を核として

- コミュニティ・スクールと連動
 - 特色ある学校づくり事業
- 地域と学校とを結び付け、スムーズな連携を支えるコーディネーターの設置
- 高校の魅力化推進に伴う取組にも有機的に連動